

[宮崎大学農学部] × [マルチスピーシーズ人類学研究会] 共同企画

ジビエ研究会

ジビエブームを科学する

日時：2018年12月14日（金）
13:00-16:30

場所：宮崎大学農学部 講義棟L201 教室

-行政的側面から- (13:00-)

1. 野生鳥獣の被害対策とジビエ振興の取り組み 寺原亮治（宮崎県）

-社会人類学的側面から-

2. ジビエ事業で狩猟と獣肉販売はどう変化したか？：西米良での聞き取りから 近藤社秋（北海道大学）
3. 狩猟肉の再考：球磨地区における猟師と獣の共生 シンジルト（熊本大学）

-生態学的側面から-

4. ニホンジカの食害による林床植生の衰退：宮崎と対馬の事例 西脇亜也（宮崎大学）
5. 屋久島での人-シカ関係の変容-地域社会を考慮したシカ捕獲事業の必要性- 立澤史郎（北海道大学）

-食品科学的側面から- (15:20-)

6. シカ肉の食品栄養学的特性 河原聡（宮崎大学）

-公衆衛生的側面から-

7. シカ肉：新たな肺吸虫症原因食品としてのリスク 吉田彩子（宮崎大学）
8. シカが原因かもしれない？ヒトにおける腸管出血性大腸菌感染症の話 井口純（宮崎大学）

本研究会は、日本学術振興会科研費 基盤研究(A)
「種の人類的転回：マルチスピーシーズ研究の可能性」の一部助成により開催します。

(問い合わせ：井口純 iguchi@med.miyazaki-u.ac.jp)